

第 1 回懇談会での主な意見等について

＜学校施設＞

- これからの学校は、地域の防災や社会教育のためにも活用していくのは必要である。
- 現在の校庭は狭いと感じている。150mトラックが余裕をもって取れる広さの校庭を確保してほしい。
- 建築基準法などの法規制が厳しくなっているため、学校と図書館の建物が建つか心配である。複合化ありきで進める前に、校舎や校庭がしっかり確保できるか確認していきたい。
- 近年の改築校を見ても、校舎は広く新しくなり不安はないが、校庭は今より狭くならないようにしてほしい。
- 新校舎になると生徒数が増える場合があり、また、将来的には 30 人学級や 35 人学級となることも視野に、教室不足にならないよう、社会情勢に適応できるフレキシブルな施設づくりをしてほしい。
- 学年単位で集まれる大きなスペースと、少人数授業や不登校児に適応した小さな部屋があるとよい。
- 地下活用は課題が多いと感じる。コミュニティふらっと成田は地下にあるが、不便を感じている（空調が効かない・ドアの開閉音や機械音が響く・虫が多い等）。
- 敷地が狭いため、地下利用も積極的に検討すべき。
- プールは、使えるのは 1 年のうちでも短い期間であり、それによって校庭が狭くなってしまいうなら、なくすことも選択肢ではないか。
- プールは、消防水利としても活用ほか、屋内プールにすれば年中使用可能で地域にも開放できるため、あった方がよいと思う。

＜図書館（学校図書館含む）＞

- 宮前図書館では、本の貸し借りだけでなく、様々な世代に向けた多様なイベントを毎月開催しており、地域文化活動の核（プラットフォーム）となっている。対面朗読室などもある。そうした機能を継承した施設としてほしい。
- 学校の教室を図書館とも共有するとの説明があったが、どのようにするのか、今後の施設見学などで見ていきたい。
- 地域図書館と複合化するにしても、学校図書館は残してほしい。
- 生徒が地域図書館を使えるようにするためには、セキュリティへの配慮が必要で、簡単ではない。
- 合築して両方で使う場合には、運用面が非常に大事になる。特に、お互いが遠慮することなく使い合うことが大切である。
- 西宮中で、学校図書館を授業で積極的に活用しているというのは素晴らしいこと。改築によって、図書館が、西宮中の学びに一層関与できるとよい。

＜その他＞

- 震災救済所の運用に合わせて臨機応変な対応ができるようにしてほしい（ペットと避難可能な運用、プールの水を消火に使うなど）。
- 中学生活 3 年間の大部分が工事期間に重なる生徒も出てくる。工事中の生徒の負担軽減に取り組んでほしい。